

心理学科 課題

次頁の 4 つの図は、10 歳から 15 歳を対象に、他者との関わり方について尋ねた結果である。

図 1 は家族・親族との関わり方について、「他の人には言えない本音を話せることがある」「何でも悩みを相談できる人がいる」「こまったときは助けてくれる」の 3 つについて、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」の 4 段階で回答し、無回答を含めた割合を表したものである。

図 2 は地域の人との関わり方について、図 3 は学校で出会った友人との関わり方について、図 4 はインターネット上の人やグループとの関わり方について、それぞれ図 1 と同様に尋ねた割合を表したものである。

家族・親戚とは、家族や親戚のことである。学校で出会った友人とは、現在通っている学校やこれまでに通っていた学校の友達などである。地域の人とは、近所の人、塾や習い事での友だちなどである。インターネット上の人やグループとは、実際には会ったことがない、または、何回か会ったことはあっても、基本的にはインターネット中心の付き合いの人やグループである。

問 1

- (1) 図 1 と図 2 を比較して読み取れることを、250 字程度で説明しなさい。
- (2) 図 3 と図 4 を比較して読み取れることを、250 字程度で説明しなさい。

問 2

図 1 から図 4 の 4 つの図を踏まえて、他者との関わり方についてあなたが考えるところを 300 字程度で述べなさい。その際、必ず問 1 で読み取った内容を議論に含めること。

出典：「子供・若者総合調査」の実施に向けた調査研究(内閣府)令和 4 年 3 月発行をもとに作成

<次頁に続きます>

